

Technical Data Sheet

2003/03/27

90-58215 Heritage8021-8024/Mansfield8013 ガラス交換キット

キットに含まれるもの			ご用意いただくもの
3030-038	ガラス	1 枚	作業用グローブ、ドライバー、 はさみ、ワイヤーブラシ、ウエス (必要に応じて) 潤滑スプレー、焼付防止剤
3110-056	1/4インチ・ロープガスケット	150 cm	
3120-021	ガラスクリップ用ガスケット	8 枚	
4500-2105	ガラスクリップ用ネジ	8 ケ	
5021-060	ガラスクリップ	8 ケ	

始める前に

- 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。
 - 割れたガラスの扱いには十分ご注意ください。
 - **ガラスには表と裏があります。**シールの貼ってある面が表（外側）です。
 - **ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。**ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因になります。
1. ガラスクリップを外します。クリップを固定しているネジ（8箇所）を外します。（ネジが錆びついて外れにくい場合は、無理に外そうとせず、潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてください）作業用グローブをはめ、割れたガラスを慎重に取り外し、廃棄してください。
 2. 古いガスケットを取り除きます。溝の汚れやサビをワイヤーブラシで落とし、かたく絞った布で残った汚れも拭き取ります。ネジ穴をきれいにし、もしあれば、焼付防止剤を塗布します。
 3. 新しいガスケットを装着します。ガスケットは粘着テープ付なので、接着剤は不要です。剥離紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ、ガスケットを溝に押し込むように装着します。ガスケットは引っ張らず縮めず、一周したらガスケットが重ならないように、余分な分はカットしてください。
 4. 新しいガラスは、シールの貼ってある面が外側にくるようにセットし、クリップとネジで元通りに固定します。小さいガスケットは、ガラスとクリップの間のクッション材です。この時、ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。

※ ガラスが中央に水平に納まっていない場合や、ネジをきつく締めすぎた場合、ガラスが破損することがありますので、取付の際にはご注意ください。

※ ガラス交換後、数回使用したら、ネジの締めすぎやゆるみのチェックをお勧めします。

鋳物のサビが原因でガラスが割れるケースがありました。錆びが盛り上がり、ガラスが圧迫されて破損の原因となったようです。ガラス交換の際には、鋳物のサビをきれいに落としてください。また、スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますので、液だれしないようご注意ください。